

総覧の発刊にあたって



(財)下水道新技術推進機構

理事長 松井大悟

財団法人下水道新技術推進機構は、下水道に関する新技術の研究及び開発を行うとともに、新技術の下水道事業への導入を促進し、下水道事業の効率的かつ円滑な推進を図り、もって国民の生活環境の改善に資することを目的として平成4年に設立されました。種々の事業の中でも、国土交通省の新世代下水道支援事業〔新技術活用型〕は、地方公共団体と本機構が共同で行う研究の重要な柱として位置づけられ、現在まで23の地方公共団体とともに31テーマについて実施してまいりました。

これらは下水道の役割やニーズと連動し、時代を先取りしたテーマで研究が進められおり、いままでに新技術として管渠関連1件・水処理関連8件・汚泥処理関連18件・設備関連4件の研究成果がでております。この成果は広く、様々な下水道関係者にとっても参考になるものと確信しています。

本総覧の発刊によってこれら新技術が、ますます広く活用されることを望んでおります。また、本機構は「新技術の橋渡し」として、コスト縮減、中小規模の下水道事業の推進、改築更新事業、地球温暖化対策や環境ホルモンなど下水道事業を実施していく上で直面する様々な課題を皆様とともに考え、地域にマッチした効率的な新技術の開発、実用化を更に進めてまいる所存です。